

2011年12月

2011年版 現代ゴルファーのライフスタイル調査

ブリヂストンスポーツ(株)は、全国のアマチュアゴルファーを対象に「現代ゴルファーのライフスタイル調査」を実施しました。調査は今年(2011年)の10月に行い、1,325人(男性782人、女性543人)から回答を得ました。

この調査は2年ごとに実施しているものです。

目次 *****

ゴルフマーケットの概況	1ページ
■調査結果の要約		
結果の要約	3ページ
プロフィール	11ページ

調査の概要 *****

- 1.調査期間 2011年10月
- 2.調査方法 当社会員モニターのうち、20～60代の全国のアマチュアゴルファーを対象に、インターネットによるアンケート調査を実施。
- 3.回収状況 回収数 1,325人(男性 782人、女性543人)

ブリヂストンスポーツ株式会社

<報道関係> ブランド・コミュニケーション部 TEL:03-5425-8650

<お客様> お客様コールセンター 0120-116613

<HP-URL> <http://www.bs-golf.com>

<WEBプレスリリース> <http://release.bs-sports.co.jp/>

ゴルフマーケットの概況

2008年のリーマンショック後の景気後退によって、2009年、2010年とマイナス成長を余儀なくされたゴルフ用品市場。2011年はエコカー減税やエコポイント制度など政府の政策がきっかけとなり消費全体によりやく明るい兆しが見え始め、ゴルフ界でも2011年に向けて需要回復への期待が高まっていた。ところが3月11日に未曾有の被害をもたらした東日本大震災が発生。影響はゴルフ用品市場にも及び、震災直後は購入者が減少。3月の売上が前年対比で下落するという結果をもたらした。またプレーにおいても震災直後は東北・関東地区を中心に来場者が落ち込むコースが目立った。またプロのトーナメントにおいても、既に開幕していた女子ツアーが4試合連続で自粛に追い込まれる事態となった。震災後はプロゴルファーやツアー主催者、メーカーなどによる支援活動が急速に広がっていき、またこうした動きは2ヶ月経過しても衰えることなく様々な活動が行われた。さらにゴルフ場でのお得な料金プランやサービス向上など様々な業界の努力により次第にゴルファーの動きが活発化。自粛ムードは急速に解消され、次第に復調傾向が顕著になった。

少子高齢化によりゴルフ対象人口が減少する2015年問題が懸念される中、ゴルフ場の集客対策が活発化。平日を中心にビジター1人で予約できるゴルフ場の増加や、親子や家族で楽しめるゴルフ体験イベントを実施するゴルフ場などが現れた。中にはゴルファー以外の集客を期待してイベント企画をするゴルフ場も少なくない。また、東日本大震災に伴う福島第一原発事故の影響で全国的な電力不足に見舞われる中、料金設定を格安にして早朝プレーを実施するゴルフ場や、料金プランをサービス内容の充実とセットで割安に設定するゴルフ場が増えるなど、ゴルフを気軽に楽しめる環境は以前よりも向上。また一方では、一般市場でのスマートフォン人気を反映して、ゴルフ界でもゴルフ関連のスマートフォン用アプリケーションソフトが次々と開発され人気を博したり、ゴルフGPSナビの普及が徐々に拡大するなど、ゴルフの楽しみを広げるデジタルツールも充実。こうしたゴルフ環境の向上は今後ますます活発化すると予想され、この機会に業界内が連携して若者ゴルファーの新規参入や団塊ゴルファーのリタイヤ防止につなげていくことがゴルフ界全体に課せられた課題ともいえる。

「現代ゴルファーのライフスタイル調査2011年版」調査結果の要約

東日本大震災によるゴルファーへの影響は一時的・限定的で、現在はほぼ回復

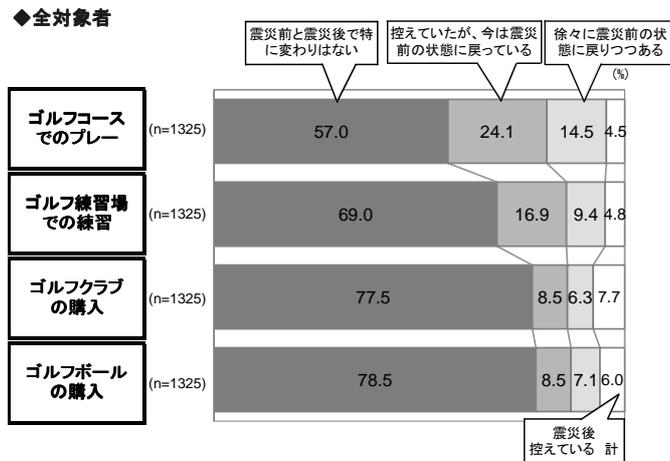
購買行動よりもプレー面に影響を及ぼした東日本大震災。

震災直後、全国のゴルファーの43%、東日本のゴルファーの57%がプレーを自粛するも、震災から約半年後の10月現在では、ほぼ震災前の状態に近づきつつある。

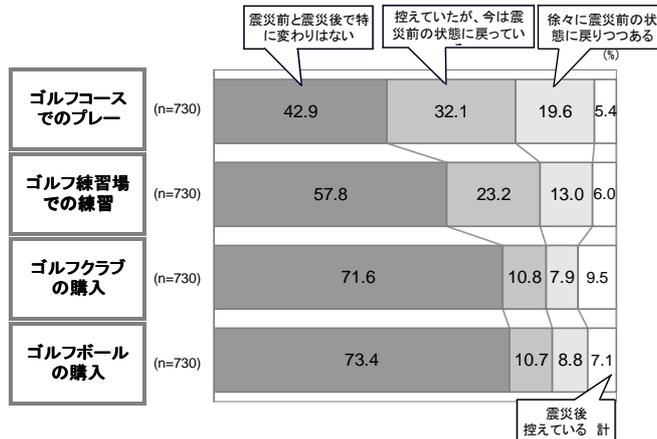
東日本大震災の影響について、ゴルフコースでのプレー、ゴルフ練習場での練習、ゴルフクラブの購入、ゴルフボールの購入の4項目についてたずねたところ、最も影響があったのはゴルフコースでのプレーで全国で43.1%、東日本地域では57.1%。次いで練習場での練習が全国で31.1%、東日本地域で42.2%。プレー、練習いずれも東日本地域での影響は全国の1.3倍強であった。(資1)

一方の購買行動については、ゴルフクラブが全国で22.5%、東日本地域で28.2%、次いでゴルフボールが全国で21.6%、東日本地域で26.6%。いずれも全体の4分の1程度と、プレーほどの影響を受けていないことがわかる。また、震災発生から半年後の10月時点において自粛しているゴルファーは、対象4項目、全国・東日本地域いずれにおいても1割を下回るなど、ほぼ震災前の状態まで回復しつつある様子がうかがえる。

(資1) <東日本大震災の前後のプレー、練習、購買行動の変化>



◆東日本地域(青森県～静岡県、北陸3県、岐阜は除く)



緩やかな市場縮小傾向の中、ゴルファー市場は成熟市場へ。

プレー回数や熱中度、ゴルフ消費の減少傾向が続く中、ゴルファー増加傾向は落ち着きを見せ、プレー回数を維持し適度に楽しむゴルファーが増大。ゴルフ市場全体が緩やかな縮小トレンドにある一方で、ゴルファー周辺では成熟市場ともいえる安定的様相が強まる。

東日本大震災の影響により、一時的にゴルファーにマイナスの影響をもたらしたものの、思ったよりも回復は早かった。一方で、国内景気の低迷や先行き不透明な経済状況を反映した消費行動の冷え込みが、ゴルフマーケットにも少なからずマイナスの影響をもたらしていることは否めない。このような環境下、プレーや練習などの「ゴルフへの取り組み」(資2)、「ゴルフに対する熱中度」(のめり込んでいる+面白くなってきている)(資4)、「自分の周辺での自分と同世代のゴルファーの増減」(資5)、商品購入やプレー費用などの「ゴルフ消費」(資6)、トーナメントのテレビ中継視聴など「トーナメント視聴」(資7)、いずれにおいても前回(09年)比でややマイナスとなった。ゴルフ市場全体としては緩やかな縮小傾向にある。しかし一方では、ゴルフへの熱中層が減少する反面、適度に面白い(変わらない)層が増大傾向にあり(資4)、また、「プレー回数増減」(資3)、「自分の周辺のゴルファーの増減」(資5)については変化のない落ち着いた状況も多々見られることから、多くのゴルファーがプラスでもマイナスでもない比較的安定的な状態に落ち着きつつあるといえる。

ゴルフ市場全体が緩やかな縮小トレンドにある中で、ゴルファーのマインド、プレー、新規参入が落ち着きを見せるなど、ゴルファー周辺では成熟市場ともいえる安定的様相が強まっているといえる。

(資2) ■年間プレー回数 (単位:回) ■1ヶ月当たりの平均練習回数 (資5) ■自分の周辺で自分と同世代のゴルフへの興味がある人の増減 (単位:%)

	全体	男性	女性
07年	22.6	22.9	22.1
09年	21.6	21.8	21.2
増減	-1.0	-1.1	-0.9
11年	20.4	20.3	20.6
増減	-1.2	-1.5	-0.6

	男性	女性
07年	5.7	5.7
09年	6.1	5.9
増減	0.4	0.2
11年	5.7	5.7
増減	-0.4	-0.2

(単位:回/月)

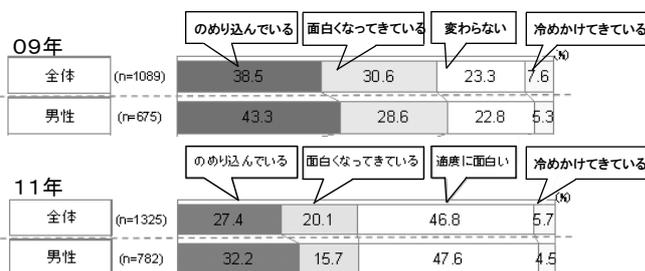
		回答者全体	
男性について	増えている	09年	41.6
		11年	30.7
	増減	-10.9	
	変わらない	09年	39.1
		11年	46.6
	増減	7.5	
減っている	09年	10.5	
	11年	16.7	
増減	6.2		
分からない	09年	8.8	
	11年	6.0	
増減	-2.8		
女性について	増えている	09年	50.2
		11年	45.2
	増減	-5.0	
	変わらない	09年	28.7
		11年	31.8
	増減	3.1	
減っている	09年	4.0	
	11年	7.4	
増減	3.4		
分からない	09年	17.0	
	11年	15.5	
増減	-1.5		

(資3) ■年間プレー回数増減の自己評価(2~3年前と比較して)

		全体	男性	女性
増えた	07年	54.9	52.9	58.5
	09年	44.7	46.7	41.5
	増減	-10.2	-6.2	-17.0
	11年	34.0	32.0	36.8
増減	-10.7	-14.7	-4.7	
変わらない	07年	29.9	31.1	27.7
	09年	36.1	33.9	39.6
	増減	6.2	2.8	11.9
	11年	37.8	40.3	34.3
増減	1.7	6.4	-5.3	
減った	07年	15.3	16.1	13.8
	09年	19.2	19.4	18.8
	増減	3.9	3.3	5.0
	11年	28.2	27.7	28.9
増減	9.0	8.3	10.1	

(単位:%)

(資4) ■熱中度内訳の経年変化



※熱中度
ゴルフに対してどの程度熱中しているかについての回答「のめり込んでいる」「面白くなってきている」「適度に面白い」「冷めかけてきている」のうち、「のめり込んでいる」+「面白くなってきている」の割合。
※09年の「変わらない」の文言を11年から「適度に面白い」に変更

次ページのデータへ続く ↓

(資6) ■ゴルフ関連費用 (単位:万円)

	男性	女性
07年	49.8	52.1
09年	50.7	50.1
増減	0.9	-2.0
11年	42.2	43.1
増減	-8.5	-7.0

■ゴルフ関連支出の内訳 (単位:万円)

		男性	女性
プレー費用	07年	25.2	24.6
	09年	27.2	27.8
	増減	2.0	3.2
	11年	23.9	22.8
	増減	-3.3	-5.0
	練習費用	07年	7.4
09年	7.2	6.9	
増減	-0.2	-0.5	
11年	5.7	6.8	
増減	-1.5	-0.1	
用具代	07年	11.8	10.8
	09年	11.7	8.1
	増減	-0.1	-2.7
	11年	8.8	7.0
	増減	-2.9	-1.1
	ファッション関連	07年	5.4
09年	4.7	7.3	
増減	-0.7	-1.0	
11年	3.9	6.5	
増減	-0.8	-0.8	

(資7) ■トーナメントのテレビ中継の視聴程度 (単位:%)

		全体	男性	女性	
LPGAツアー (日本女子プロゴルフツアー)	07年	95.5	95.8	95.0	
	09年	93.7	95.0	91.8	
	増減	-1.8	-0.8	-3.2	
	11年	89.9	92.4	86.6	
	増減	-3.8	-2.6	-5.2	
	07年	83.7	87.6	76.8	
ジャパンゴルフツアー (日本男子プロゴルフツアー)	07年	92.2	94.9	87.9	
	09年	8.5	7.3	11.1	
	増減	89.2	91.2	86.6	
	11年	-3.0	-3.7	-1.3	
	増減	79.7	81.5	76.4	
	07年	71.5	74.1	67.4	
USPGAツアー (米国男子プロゴルフツアー)	09年	-8.2	-7.4	-9.0	
	増減	60.6	60.8	60.2	
	11年	-10.9	-13.3	-7.2	
	増減	07年	64.6	60.1	72.7
	09年	62.2	58.2	68.8	
	増減	-2.4	-1.9	-3.9	
USLPGAツアー (米国女子プロゴルフツアー)	11年	51.9	49.3	55.8	
	増減	-10.3	-8.9	-13.0	
	07年	35.1	39.3	27.6	
	09年	48.8	52.0	43.7	
	増減	13.7	12.7	16.1	
	11年	40.1	41.0	38.9	
JPGAシニアツアー (日本男子シニアツアー)	増減	-8.7	-11.0	-4.8	
	07年	23.0	25.6	18.4	
	09年	26.4	27.7	24.4	
	増減	3.4	2.1	6.0	
	11年	22.0	20.4	24.3	
	増減	-4.4	-7.3	-0.1	

※「よく見る」と「時々見る」の合計

ゴルファーから見たゴルファー増減の主流が「増えている」から「変わらない」へシフト

女性・若者層の新規参入ブームに陰りが出る一方で、男性団塊世代のリタイヤが加速

ここ数年の女性や若者層を中心としたゴルファー増大の盛り上がり陰りに見られるが、全体的なゴルファー減少の勢いは弱く、ゴルファーの増減にも変化がなく安定的になりつつある。しかし、男性団塊世代においてはリタイヤがいよいよ加速し始め顕在化の兆し。

ゴルファーから見た“自分周辺の同世代ゴルファーの増減”については、男性・女性とも「増えている」が大幅に減少するなど、ここ数年の盛り上がり陰りに見られる結果となった。一方で男女とも「変わらない」が大幅に増大。ゴルファー増減の主流は「増えている」から「変わらない」へシフト。逆に「減っている」の増大幅は男女ゴルファーとも若干の増大傾向にあるものの、その勢いは小さい。男性ゴルファー、女性ゴルファーとも「変わらない」が大半を占め、ゴルファーから見たまわりのゴルファーの増減は現状維持の様相が強く、全般的に安定的になりつつある。

前回調査ではさほど目立たなかった60代男女周辺での「ゴルファーの減少感」が今回調査では大幅に増大。男性、女性ともにほぼ倍増していることから、今後もさらに加速すると予想される。特にボリュームの大きい男性団塊世代ゴルファーのリタイヤがいよいよ顕在化の兆し。

(資8) ■ 自分の周辺で自分と同世代のゴルフへの興味がある人の増減 (単位:%)

		男性						女性					
		全体	20代	30代	40代	50代	60代	全体	20代	30代	40代	50代	60代
増えている	07年	53.5	75.8	66.3	44.5	43.6	35.8	57.4	78.2	62.0	53.7	51.4	34.9
	09年	46.4	47.8	54.4	44.4	41.4	42.6	45.0	41.1	55.3	45.2	40.7	40.2
	増減	-7.1	-28.0	-11.9	-0.1	-2.2	6.8	-12.4	-37.1	-6.7	-8.5	-10.7	5.3
	11年	37.6	47.6	42.7	37.4	32.7	31.5	38.6	40.4	38.8	41.3	35.5	36.7
変わらない	07年	33.1	19.6	24.1	37.4	40.3	44.3	30.4	14.5	30.0	33.3	32.9	39.5
	09年	31.9	27.2	30.4	34.3	34.2	31.7	37.2	41.1	31.6	45.2	36.0	30.3
	増減	-1.2	7.6	6.3	-3.1	-6.1	-12.6	6.8	26.6	1.6	11.9	3.1	-9.2
	11年	37.4	34.8	38.0	40.3	38.8	33.8	42.0	39.4	47.9	39.6	45.0	35.5
減っている	07年	10.1	1.3	6.6	15.5	12.2	15.7	4.1	1.8	2.7	4.1	7.1	7.0
	09年	8.4	7.8	2.3	8.8	11.6	13.0	5.4	5.1	3.2	2.7	8.1	9.8
	増減	-1.7	6.5	-4.3	-6.7	-0.6	-2.7	1.3	3.3	0.5	-1.4	1.0	2.8
	11年	12.9	5.9	8.6	12.4	13.6	21.2	10.9	6.3	8.8	10.4	11.3	20.3
わからない	07年	3.3	3.3	3.0	2.6	3.9	3.7	8.2	5.5	5.3	8.9	8.6	18.6
	09年	13.3	17.2	12.9	12.4	12.7	12.6	12.3	12.7	10.0	7.0	15.1	19.7
	増減	10.0	13.9	9.9	9.8	8.8	8.9	4.1	7.2	4.7	-1.9	6.5	1.1
	11年	12.3	11.8	10.9	10.0	15.0	13.5	8.6	14.0	4.6	8.8	8.4	7.6
	増減	-1.0	-5.5	-2.0	-2.4	2.3	0.9	-3.8	1.3	-5.5	1.8	-6.8	-12.1

※自分の周辺でゴルフへの興味がある人
自分の周辺でゴルフへの興味がある人の「男性について」と「女性について」の回答を合計し、2で割った平均の割合。

「新規参入から定着へ」。まじめに取り組む30代男性が次世代を担うゴルファーとして育つ

まじめで熱い30代男性ゴルファー。今後のゴルフ界を担う若手ゴルファーとして育つ。ここ数年の新規参入も多い彼らだが、今ではすっかりゴルフに定着、気持ちも熱い。ビジネスよりプライベート志向で、仲間と楽しみながらも技術向上にまじめに取り組む一面も。

2年前の調査では、各年代の中で自分の周辺で自分と同年代の「ゴルファー増大」が顕著で最も盛り上がった30代男性。その09年の調査でも6割強が増えていると回答。しかし、こうした増大傾向も11年には4割強にまで減少。一方で「変わらない」割合を年々増大させるなど、「新規参入から定着へ」といった構図が最も浮き彫りになった年代でもある(資料9)。さらに、ゴルフに対する熱中度においても、ゴルフにのめり込んでいる割合が40代と並んで最も高いのが30代男性。ゴルフへの定着の強さもうかがえる結果となった(資料10)。

また、30代男性はビジネスゴルフを減らす一方で職場の仲間とのゴルフを増やす傾向にあり、年代間でもトップの割合をキープし続けているなどプライベート志向が強い(資料11)。逆に練習場へは職場仲間と行く割合が減少し一人で行く割合が急増していることから、技術向上に向けてまじめに取り組む姿勢がうかがえる(資料12)。こうしたことが影響し、練習場におけるプライベートレッスンと有料レッスン(ラウンドレッスン)の利用意向が年代間で最も高いなど、レッスンへの関心を高めることにもつながっていると考えられる(資料13・14)。30代男性がゴルフにまじめに取り組む姿勢は、まさに次世代を担うゴルファーとして育ってきている証でもある。

(資料9)

■自分の周辺で自分と同世代のゴルフへの興味がある人の増減(単位:%)

		男性回答者						
		全体	20代	30代	40代	50代	60代	
男性 ゴル ファー	増えている	09年	45.5	55.6	60.8	43.8	32.2	33.9
		11年	33.0	52.9	44.7	31.8	25.9	17.6
	変わらない	09年	37.3	25.6	32.2	37.9	45.2	43.5
		11年	43.4	33.3	39.4	47.6	47.6	44.7
	減っている	09年	12.7	10.0	3.5	14.4	19.2	18.3
		11年	20.1	7.8	12.4	18.8	22.4	34.1
		増減	7.4	-2.2	8.9	4.4	3.2	15.8

(資料11)

■最も多いラウンドの相手

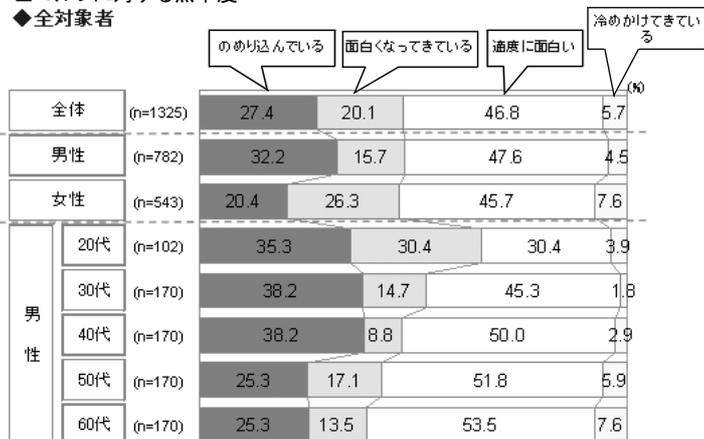
(単位:%)

		男性							
		全体	20代	30代	40代	50代	60代		
職 場 (社 内 仲 間)	07年	07年	37.5	47.7	48.2	43.2	31.5	14.2	
		09年	35.7	41.1	41.5	45.1	32.2	14.8	
	11年	09年	増減	-1.8	-6.6	-6.7	1.9	0.7	0.6
		11年	増減	-0.2	2.0	3.8	-1.6	0.2	1.7
	任 事 (社 外 係 の 人)	07年	07年	14.1	8.5	15.7	16.1	16.6	12.7
			09年	15.6	16.7	21.1	15.7	11.6	11.3
11年		09年	増減	1.5	8.2	5.4	-0.4	-5.0	-1.4
		11年	増減	13.2	5.9	17.6	13.5	17.6	8.2
		増減	-2.4	-10.8	-3.5	-2.2	6.0	-3.1	

(資料10)

■ゴルフに対する熱中度

◆全対象者



(資料12)

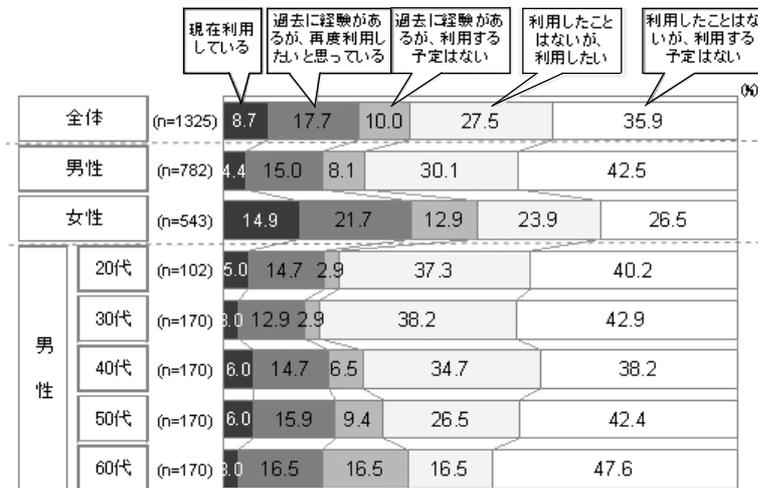
■男性が練習にいっしょに行く相手

(単位:%)

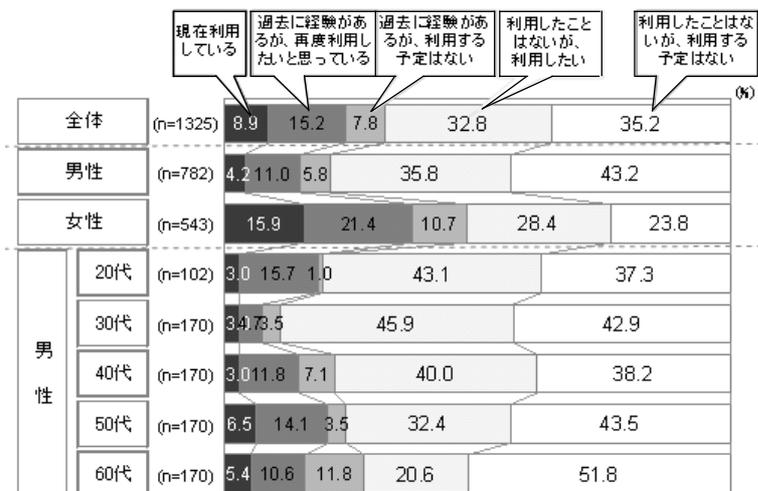
		男性							
		全体	20代	30代	40代	50代	60代		
ひ と り	07年	07年	59.7	45.1	48.2	65.2	68.5	72.4	
		09年	61.8	43.3	51.5	67.3	72.6	70.4	
	11年	09年	増減	2.1	-1.8	3.3	2.1	4.1	-2.0
		11年	増減	11.3	3.8	16.7	9.8	10.3	9.6
	職 場 の 仲 間	07年	07年	11.3	19.6	23.5	7.1	3.3	2.2
			09年	10.8	24.4	19.3	7.2	3.4	1.7
11年		09年	増減	-0.5	4.8	-4.2	0.1	0.1	-0.5
		11年	増減	8.1	21.6	12.4	5.3	3.5	2.9
		増減	-2.7	-2.8	-6.9	-1.9	0.1	1.2	

次ページのデータへ続く ↓

(資13) ■練習場などによるプライベート(個人)レッスンの経験と意向



(資14) ■有料レッスン(ラウンドレッスン)の経験と意向



最もゴルフに夢中で積極的な20代男性と30代女性。プレーの料金許容度も大幅にアップ。

今、一番盛り上がっているゴルフ世代は、20代男性ゴルファーと30代女性ゴルファー。主なプレースタイルは、20代男性が「仲間ゴルフ」、30代女性は「パートナーゴルフ」。また、プレー適正料金が大幅にアップするなど、プレーに対して積極的な姿勢が見える。

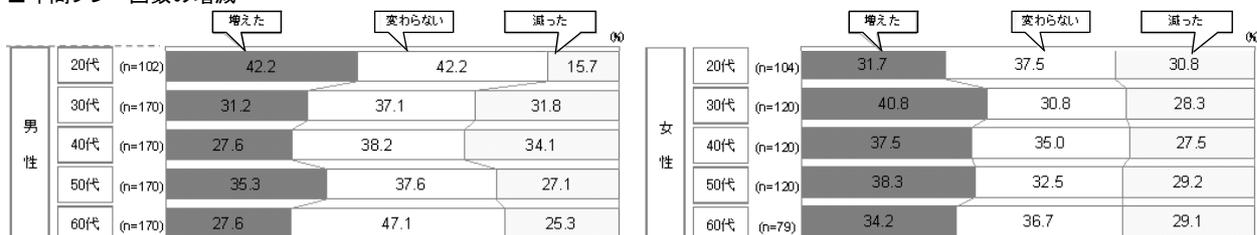
年代間で最もゴルフ熱中度が高く(資15)、最も年間プレー回数を増大させているのが20代男性と30代女性(資16)。主なプレー相手は20代男性では仲間(職場の仲間・同性の友人)が多く、30代女性ではパートナー(夫・異性の友人)が多い(資17)。また20代男性と30代女性は、他の年代に比べてプレー適正料金の提示金額が高めで(資18)、プレーに対する料金許容度が拡大、前回調査(09年)と比べて提示金額が大幅にアップ。プレーに対して前向きで積極的な姿勢が見られる。こうした背景には、20代男性と30代女性は上の年代層に比べて年間プレー回数が少なく(資19)、ラウンド経験も浅いことに加え、一般的に上の年代に比べて可処分所得が高いことから、プレーに対して比較的高めの金額提示をする傾向にあると考えられる。

(資15) ■ゴルフに対する熱中度 (単位:%)

	男性						女性					
	全体	20代	30代	40代	50代	60代	全体	20代	30代	40代	50代	60代
07年	74.8	85.6	86.1	79.4	66.8	53.7	75.8	76.3	76.0	80.4	81.4	51.1
09年	71.9	68.9	86.0	75.2	66.4	55.6	64.5	53.2	73.7	73.1	59.3	59.0
増減	-2.9	-16.7	-0.1	-4.2	-0.4	1.9	-11.3	-23.1	-2.3	-7.3	-22.1	7.9
11年	47.9	65.7	52.9	47.0	42.4	38.8	46.7	42.3	55.9	50.0	45.8	35.4
増減	-24.0	-3.2	-33.1	-28.2	-24.0	-16.8	-17.8	-10.9	-17.8	-23.1	-13.5	-23.6

※熱中度
ゴルフに対してどの程度熱中しているかについての回答「のめり込んでいる」「面白くなってきている」「適度に面白い」「冷めかけてきている」のうち、「のめり込んでいる」+「面白くなってきている」の割合。

(資16) ■年間プレー回数の増減



(資17) ■最も多いラウンドの相手(ベスト5) (単位:%)

	11年	男性					女性						
		全体	20代	30代	40代	50代	60代	全体	20代	30代	40代	50代	60代
職場の仲間(社内)	11年	35.5	43.1	45.3	43.5	32.4	16.5	16.2	29.8	20.8	15.8	9.2	2.5
同性の友人	11年	28.9	29.4	19.4	25.3	28.8	41.8	18.8	17.3	13.3	17.5	16.7	34.2
夫婦	11年	3.6	1.0	1.8	2.4	4.7	7.1	33.1	16.3	31.7	32.5	45.0	40.5
仕事関係の人(社外)	11年	13.2	5.9	17.6	13.5	17.6	8.2	5.0	4.8	3.3	8.3	5.0	2.5
異性の友人	11年	1.2	1.0	2.4	1.2	0.0	1.2	15.3	11.5	21.7	17.5	15.0	7.6

(資18) ■プレー適正料金の比較 (単位:円)

		男性						女性					
		全体	20代	30代	40代	50代	60代	全体	20代	30代	40代	50代	60代
適正価格(円)	07年	11057	11321	10999	11079	10952	10942	11367	10998	11545	11283	11220	11704
	09年	11317	11078	11978	10834	11577	10831	11786	12200	11308	10976	12086	12803
	増減	260	-243	979	-245	625	-111	419	1202	-237	-307	866	1099
	11年	10826	12144	10943	10478	10854	10238	11736	12528	12019	10947	11518	11795
増減	-491	1066	-1035	-356	-723	-593	-50	328	711	-29	-568	-1008	

(資19) ■年間プレー回数(11年) (単位:回)

	男性						女性					
	全体	20代	30代	40代	50代	60代	全体	20代	30代	40代	50代	60代
11年	20.3	12.2	15.5	17.7	24.2	28.5	20.6	5.7	20.3	21.1	26.1	31.7

男性ゴルファーは「熱中層」と「適度に楽しむ層」に二分。仲間と楽しむ一方でゴルフのひとり化も進行。

男性ゴルファーは「熱中して楽しんでいる層」が減少し、「適度に楽しんでいる層」が増大。ゴルファーが二分される結果となった。ラウンドではビジネスゴルフよりも仲間ゴルフといったようにゴルフを楽しむ傾向が強まる一方、練習場、ラウンドでのひとり率が増大。

熱中度は年々減少(資20)、今回調査では半数弱にまで減少し、反対に適度に面白い層(変わらない層)が全体の半数弱を占めるまでに増大。ゴルフに対する思いは、「熱中して楽しんでいる層」と「適度に楽しんでいる層」に二分される結果となった(資25)。また、練習においては、ひとりで行く傾向が年々高まり、男性全体で7割を超えるに至った(資26)。マイペースでまじめに練習に励むひたむきな姿がうかがえる。年代別で見ると、プレー回数(資22)は熱中度(資21)に、練習回数(資24)はプレー回数自己評価(資23)に比例する傾向にある。また、ラウンドにおいては、ビジネスゴルフが年々減少し、仲間とのプレーが増大するなど(資27)、ゴルフを親しい仲間同士で楽しもうとする傾向が強まっている。また、練習同様にプレー面においてもひとり率は増大傾向にある。

(資20) ■ゴルフに対する熱中度(男性) 単位(%)

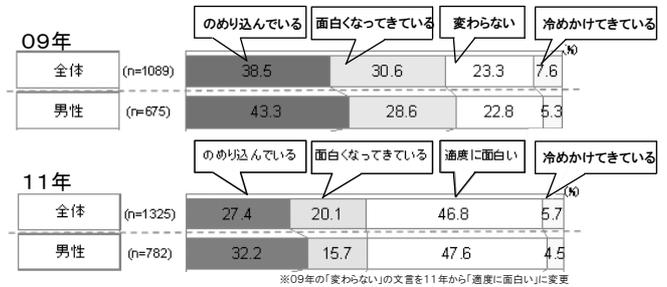
	03年	05年	07年	09年	11年
熱中度	89.5	80.4	74.8	71.9	47.9

(資21) ■ゴルフに対する熱中度 (単位:%)

	男性					
	全体	20代	30代	40代	50代	60代
09年	71.9	68.9	86.0	75.2	66.4	55.6
11年	47.9	65.7	52.9	47.0	42.4	38.8
前回比(%)	66.6	95.4	61.5	63.3	63.9	69.8

※熱中度
ゴルフに対してどの程度熱中しているかについての回答「のめり込んでいる」「面白くなってきている」「適度に面白い」「冷めかけてきている」のうち、「のめり込んでいる」+「面白くなってきている」の割合。

(資25) ■熱中度内訳の経年変化



(資22) ■年間プレー回数の経年変化 (単位:回)

	男性					
	全体	20代	30代	40代	50代	60代
09年	21.8	13.0	17.4	20.7	26.8	30.7
11年	20.3	12.2	15.5	17.7	24.2	28.5
前回比(%)	93.1	93.8	89.1	85.5	90.3	92.8

(資26) ■男性ゴルファーが練習にいっしょに行く相手 (単位:%)

		男性					
		全体	20代	30代	40代	50代	60代
ひとり	07年	59.7	45.1	48.2	65.2	68.5	72.4
	09年	61.8	43.3	51.5	67.3	72.6	70.4
	増減	2.1	-1.8	3.3	2.1	4.1	-2.0
	11年	73.1	47.1	68.2	77.1	82.9	80.0
	増減	11.3	3.8	16.7	9.8	10.3	9.6

(資23) ■年間プレー回数増減の自己評価(2~3年前と比較して) (単位:%)

		男性					
		全体	20代	30代	40代	50代	60代
増えた	09年	46.7	37.8	53.2	52.3	46.6	36.5
	11年	32.0	42.2	31.2	27.6	35.3	27.6
	増減	-14.7	4.4	-22.0	-24.7	-11.3	-8.9
減った	09年	19.4	23.3	19.9	16.3	19.2	20.0
	11年	27.7	15.7	31.8	34.1	27.1	25.3
	増減	8.3	-7.6	11.9	17.8	7.9	5.3

(資24) ■1ヶ月当たりの平均練習回数 (単位:回/月)

	男性					
	全体	20代	30代	40代	50代	60代
09年	6.1	5.6	6.6	6.7	5.6	5.8
11年	5.7	6.8	5.3	5.0	5.8	5.9
前回比(%)	93.4	121.4	80.3	74.6	103.6	101.7

(資27) ■最も多いラウンドの相手 (単位:%)

		男性					
		全体	20代	30代	40代	50代	60代
職場の仲間(社内)	07年	37.5	47.7	48.2	43.2	31.5	14.2
	09年	35.7	41.1	41.5	45.1	32.2	14.8
	増減	-1.8	-6.6	-6.7	1.9	0.7	0.6
	11年	35.5	43.1	45.3	43.5	32.4	16.5
	増減	-0.2	2.0	3.8	-1.6	0.2	1.7
同性の友人	07年	26.0	20.3	22.9	21.9	24.3	43.3
	09年	27.1	27.8	22.2	22.2	26.0	41.7
	増減	1.1	7.5	-0.7	0.3	1.7	-1.6
	11年	28.9	29.4	19.4	25.3	28.8	41.8
	増減	1.8	1.6	-2.8	3.1	2.8	0.1
仕事関係の人(社外)	07年	14.1	8.5	15.7	16.1	16.6	12.7
	09年	15.6	16.7	21.1	15.7	11.6	11.3
	増減	1.5	8.2	5.4	-0.4	-5.0	-1.4
	11年	13.2	5.9	17.6	13.5	17.6	8.2
	増減	-2.4	-10.8	-3.5	-2.2	6.0	-3.1
ひとり	07年	4.9	3.3	3.0	3.9	8.8	5.2
	09年	6.8	0.0	3.5	4.6	13.0	12.2
	増減	1.9	-3.3	0.5	0.7	4.2	7.0
	11年	8.8	5.9	5.3	8.8	10.6	12.4
	増減	2.0	5.9	1.8	4.2	-2.4	0.2

プロフィール

■性別・年代構成

(単位:人)

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	102	170	170	170	170	782
女性	104	120	120	120	79	543
合計	206	290	290	290	249	1325

■ゴルフのキャリア

	全体	男性						女性					
		計	20代	30代	40代	50代	60代	計	20代	30代	40代	50代	60代
(N)	(1325)	(782)	(102)	(170)	(170)	(170)	(170)	(543)	(104)	(120)	(120)	(120)	(79)
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
5年未満	20.5	14.5	62.7	19.4	7.1	2.4	-	29.1	65.4	40.8	20.0	12.5	2.5
5年以上10年未満	17.5	14.1	24.5	28.8	14.1	4.7	2.4	22.5	29.8	34.2	23.3	11.7	10.1
10年以上20年未満	26.3	24.5	10.8	44.1	36.5	15.3	10.0	28.9	4.8	24.2	36.7	40.0	39.3
20年以上30年未満	22.7	27.6	2.0	7.1	35.9	51.2	31.8	15.6	-	0.8	19.2	30.8	30.4
30年以上	13.0	19.4	-	0.6	6.5	26.5	55.8	3.9	-	-	0.8	5.0	17.9
平均	14.8	17.7	4.8	9.8	16.5	22.8	29.5	10.6	3.6	6.4	11.1	15.0	19.1

■平均スコア

(単位:ストローク)

	全体	男性	女性
全体	99	95	106
20代	112	106	118
30代	101	95	107
40代	99	93	104
50代	97	93	101
60代	96	91	100